

# プログラム

第1日目 2025年4月26日(土)

**第1会場 (看護学部 2F 講堂)**

総会・評議員会・開会式 8:50~9:20

教育講演1 9:30~10:20

座長：橋本 亮太 (国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 精神疾患病態研究部)

## 日常診療で使用できる統合失調症の評価尺度

竹内 啓善 慶應義塾大学 医学部 精神・神経科学教室

特別企画1 10:30~12:00

座長：古茶 大樹 (聖マリアンナ医科大学 神経精神科学教室)  
池田 学 (大阪大学大学院医学系研究科 精神医学教室)

## 老年期発症のサイコース

高齢発症の非器質性精神病概念の歴史について  
History of elderly-onset non-organic psychoses

古茶 大樹  
聖マリアンナ医科大学 神経精神科学教室

老年期発症のサイコースと神経変性疾患の連続性

池田 学  
大阪大学大学院医学系研究科 精神医学教室

老年期サイコース -嫉妬妄想を中心に-

橋本 衛  
近畿大学医学部 精神神経科学教室

国際学会発表奨励賞受賞者セッション 13:20~13:50

座長：鈴木 道雄 (医療法人高田西城会 糸魚川診療所 / 医療法人社団四方会 有沢橋病院)

## 統合失調症モデルマウスを用いた急性炎症による陽性症状改善のメカニズムの解明

篠原 陸斗 北海道大学大学院医学研究院 神経病態学分野精神医学教室 / 市立釧路総合病院

学会賞受賞者講演 13:50~14:30

座長：糸川 昌成 (東京都医学総合研究所)  
夏莉 郁子 (やきつべの径診療所)

日本人にとって、より安全なクロザピン導入法を検討する

菊地 佑樹  
こだまホスピタル/東北大学大学院医学系研究科 精神神経学分野

一般地域住民の思春期におけるこころの不調と脳波の研究

臼井 香  
国立精神・神経医療研究センター/東京大学大学院医学系研究科 精神医学教室

教育講演2 14:40~15:30

座長：徳山 明広 (一般財団法人信貴山病院 ハートランドしぎさん)

統合失調症に対する新たな認知行動療法  
～リカバリーを目指す認知療法 (Recovery-oriented Cognitive Therapy:  
CT-R) の概要とそのエビデンス～

久我 弘典 国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター

教育講演3 15:35~16:25

座長：堀 貴晴 (新淡路病院)

私たちにできること  
～淡路障害者生活支援センターでのピアサポーターの歩み～

中川 智一 淡路障害者生活支援センター 精神保健福祉士  
安井 幹人 淡路障害者生活支援センター ピアサポーター  
今谷 忠男 淡路障害者生活支援センター ピアサポーター  
今谷 省吾 淡路障害者生活支援センター ピアサポーター

教育講演4 16:30~17:20

座長：紀本 創兵 (和歌山県立医科大学 神経精神医学教室)

ジェネティクスからみた統合失調症と自殺の関係性

菱本 明豊 神戸大学大学院医学研究科 精神医学分野

教育講演5 17:25~18:15

座長：川端 康雄 (大阪医科薬科大学 神経精神医学教室)

メンタライゼーション - 愛着外傷から統合失調症へ -

崔 炯仁 医療法人稲門会 いわくら病院

教育講演6 18:20~19:10

座長：沼田 周助 (徳島大学大学院医歯薬学研究部 精神医学分野)

## 変わってほしい精神医療 ～仲間同士の支え合いの歴史から学ぶ～

石田 貴紀 東京大学大学院医学系研究科 医学のダイバーシティ教育研究センター/  
東京大学医学部附属病院 精神神経科 ピアサポートワーカー

### 第2会場 (看護学部棟 3F 講義室4)

シンポジウム1 9:30~11:00

座長：内田 裕之 (慶應義塾大学 医学部 精神・神経科学教室)

## 若手の研究最前線

### SY1-1 高齢者の幻覚妄想と独居・孤独感との関係

○竹田 佳世<sup>1)</sup>、鐘本 英輝<sup>2)</sup>、池田 学<sup>1)</sup>

1) 大阪大学大学院医学系研究科 精神医学教室、2) 大阪大学キャンパスライフ健康支援・相談センター

### SY1-2 統合失調症と血清ビタミンB12の関連研究

○山田 直輝

徳島大学大学院医歯薬学研究部 精神医学分野

### SY1-3 神経認知・社会認知・社会機能に基づく統合失調症の「臨床的サブタイプ」の解明に向けて

○内野 敬<sup>1,2)</sup>、根本 隆洋<sup>1,2)</sup>

1) 東邦大学医学部 精神神経医学講座、2) 東邦大学医学部 社会実装精神医学講座

### SY1-4 統合失調症の機能的構造の解明と治療反応性の予測

○中村 弓那

慶應義塾大学 医学部 精神・神経科学教室

ランチョンセミナー1 12:10~13:10

座長：岡村 武彦 (特定医療法人大阪精神医学研究所 新阿武山病院)

## 維持期を見据えた統合失調症治療を考える －抗精神病薬の副作用や遅発性ジスキネジアを中心に－

坪井 貴嗣 杏林大学医学部 精神神経科学教室

共催：田辺三菱製薬株式会社/ヤンセンファーマ株式会社

## シンポジウム2 13:20~15:20

座長：尾関 祐二 (滋賀医科大学 精神医学講座)

高木 学 (岡山大学学術研究院医歯薬学域 精神神経病態学)

### 統合失調症患者の就労を促進する

#### SY2-1 精神障害雇用の就労支援の現状と課題

○山口 創生

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 地域精神保健・法制度研究部

#### SY2-2 リハビリを旨とする認知療法による就労支援の可能性

○耕野 敏樹

岡山大学学術研究院 社会文化科学学域 (文学部)

#### SY2-3 就労を目指す精神科救急医療の現状

○藤田 康孝

医療法人社団更生会 こころホスピタル草津

#### SY2-4 IPS伴走型就労支援がなぜ求められるのか？ -実践の紹介を通じて考える-

○林 輝男

社会医療法人清和会 西川病院

## シンポジウム3 15:30~17:00

座長：金沢 徹文 (大阪医科薬科大学 神経精神医学教室)

竹林 実 (熊本大学大学院生命科学研究部 健康長寿代謝制御研究センター 精神病態医学講座)

### 統合失調症・非定型精神病・自己免疫性脳炎の共通点と相違点について

#### SY3-1 精神病エピソードの診断と治療

○八田 耕太郎

順天堂大学大学院医学研究科 精神・行動科学

#### SY3-2 今の時代、非定型精神病は消え去ったのか？

○須賀 英道

龍谷大学短期大学部

#### SY3-3 精神科における自己免疫性脳炎の現在地

○酒本 真次

岡山大学病院 精神科神経科

#### SY3-4 統合失調症のバイオロジー

○鳥塚 通弘

藤田医科大学 医学部 精神神経科学講座 / 藤田医科大学 精神・神経病態解明センター 変革融合精神医学

**シンポジウム4** 17:10~19:10

座長：金沢 徹文 (大阪医科薬科大学 神経精神医学教室)

**統合失調症の病態生理を再考する**

**SY4-1 統合失調症の病態生理における神経細胞新生の役割**

○朴 秀賢  
新潟大学大学院医歯学総合研究科 精神医学分野

**SY4-2 統合失調症の免疫学的視点からの考察**

○牧之段 学  
藤田医科大学 医学部 精神神経科学講座

**SY4-3 統合失調症の治療反応に関する多変量解析**

○中島 振一郎  
慶應義塾大学 医学部 精神・神経科学教室

**SY4-4 統合失調症とエピジェネティクス～死後脳研究から**

○岩本 和也  
熊本大学大学院 生命科学研究部 分子脳科学講座

**第3会場 (看護学部棟 3F 講義室5)**

**シンポジウム5** 9:30~11:00

座長：岡山 達志 (医療法人稲門会 いわくら病院)  
山口 創生 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 地域精神保健・法制度研究部)

**精神科急性期・亜急性期における意思決定支援**

**SY5-1 統合失調症の急性期に想いを聞いてもらった個人的経験と今**

○山崎 将展  
サポートセンターなかせ

**SY5-2 メンタルヘルスの課題を抱える人の意思を実現させる技術こそが、メンタルヘルス支援者の専門性ではないか**

○工藤 由佳  
特定医療法人群馬会 群馬病院 / 慶應義塾大学 医学部 精神・神経科学教室 / University College London

**SY5-3 精神科救急病棟における意思決定支援について**

○櫻間 志穂  
医療法人稲門会 いわくら病院

**SY5-4 ○C・H**

## シンポジウム6 13:20~15:20

座長：浅見 隆康 (メンタルプラス家族支援訪問クリニック)  
樽谷 精一郎 (大阪精神医学研究所 新阿武山病院)

### 長期在院者の退院支援と地域定着支援

#### SY6-1 家族支援学のススメ ~家族制度に頼った旧制度からコプロダクションの時代に向けて~

○須藤 友博  
群馬県立精神医療センター

#### SY6-2 どの病院でもできる長期在院者の退院と地域定着支援

○植田 俊幸  
鳥取県立厚生病院・精神保健福祉センター

#### SY6-3 退院支援のための意思決定支援ガイドの開発 -強制医療も行われる精神科医療において、患者の意思を尊重することの神聖さを示す-

○工藤 由佳  
特定医療法人群馬会 群馬病院/慶應義塾大学 医学部 精神・神経科学教室/University College London

#### SY6-4 長期在院患者さんへの支援から学んだこと

○土田 正一郎  
倶知安厚生病院

#### SY6-5 長期在院者の回復に携わる支援者をエンパワーするために

○樽谷 精一郎  
大阪精神医学研究所 新阿武山病院

## シンポジウム7 15:30~17:00

座長：東 徹 (藍野花園病院 医療社会事業部)

### 身体合併症

#### SY7-1 統合失調症での理学・作業療法

○砂田 一郎  
藍野病院 リハビリテーション科

#### SY7-2 精神保健福祉士の視点で考える身体合併症

○山田 妃沙子、清水 敏幸、南 翔太、桂 功士、池田 俊一郎、加藤 正樹  
関西医科大学総合医療センター 精神神経科

#### SY7-3 統合失調症に対する精神疾患・身体合併症センターの役割と課題

○清水 敏幸<sup>1,2)</sup>、南 翔太<sup>1)</sup>、桂 功士<sup>1)</sup>、池田 俊一郎<sup>1)</sup>、山田 妃沙子<sup>1)</sup>、和田 大樹<sup>2)</sup>、  
中森 靖<sup>2)</sup>、加藤 正樹<sup>1)</sup>  
1) 関西医科大学 医学部 精神神経科学講座、2) 関西医科大学 医学部 救急医学講座

#### SY7-4 救急医からみる精神科医の身体症候の診かた

○大西 尚哉<sup>1)</sup>、西田 圭一郎<sup>1)</sup>、西澤 由貴<sup>1)</sup>、木下 真也<sup>1)</sup>、山川 一馬<sup>2)</sup>、高須 朗<sup>2)</sup>、  
金沢 徹文<sup>1)</sup>  
1) 大阪医科薬科大学 神経精神医学教室、2) 大阪医科薬科大学 救急医学教室

シンポジウム8 17:10~18:40

座長：堀 輝 (福岡大学医学部 精神医学教室)  
兼田 康宏 (岩城クリニック)

## 統合失調症認知機能障害治療最前線

### SY8-1 抗精神病薬が統合失調症の認知機能に与える影響：改善か？悪化か？

○竹内 啓善  
慶應義塾大学 医学部 精神・神経科学教室

### SY8-2 統合失調症の認知機能障害に対するリハビリテーション

○池澤 聡  
国立精神・神経医療研究センター

### SY8-3 今後期待される認知機能障害治療薬

○嶽北 佳輝  
関西医科大学 医学部 精神神経科学講座

### SY8-4 統合失調症社会認知機能障害の評価と治療

○堀 輝  
福岡大学医学部 精神医学教室

## 第4会場 (看護学部棟 2F 講義室1)

ワークショップ1 10:00~11:30

## 統合失調症を持つ人のための上手な診察のうけ方のコツ (うけコツ)

司会：市橋 香代 (東京大学医学部附属病院 精神神経科)  
ファシリテーター：中越 由美子 (もくせい家族会 / LINE 家族会 Pure Light)  
井手 健太 (産業医科大学病院 薬剤部)  
加藤 玲 (新宿区精神障害者家族会 新宿フレンズ)  
佐藤 祐子 (新宿区精神障害者家族会 新宿フレンズ)  
藤兼 大輔 (岐阜大学医学部附属病院 精神科)  
森田 真規子 (奈良ともしび会 / 一般社団法人 kokko)

ワークショップ2 13:20~16:30

## 短時間で行える統合失調症の認知社会機能測定法と臨床応用

講師：松本 純弥 (国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 精神疾患病態研究部)  
伊藤 颯姫 (国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 精神疾患病態研究部)  
住吉 チカ (福島大学 人間発達文化学類)  
橋本 亮太 (国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 精神疾患病態研究部)

## 一般演題(口演) 16:40~17:10

座長：岡山 達志 (医療法人稲門会 いわくら病院)  
山岡 由実 (大阪医科薬科大学 看護学部)

## O-1 小学校低学年で精神症状が現れた娘の回復過程

○三良 貴代美  
シルバーリボンジャパン Pure Light 一般社団法人障がい者グループホーム夢の花

## O-2 頻回の自殺・自傷行為を繰り返す統合失調の症例に対するリカバリーを目指す認知療法 (Recovery-Oriented cognitive Therapy : CT-R) に基づく介入

○吉田 玲夫、吉田 昌平  
医療法人社団吉田会 吉田病院

## O-3 衝動性のコントロールが難しい患者のリカバリー ~希望の言語化に向けて~

○高瀬 玲<sup>1)</sup>、志水 佐知子<sup>1)</sup>、西村 暢宏<sup>1)</sup>、山岡 由実<sup>2)</sup>  
1) 医療法人社団東峰会 関西青少年サナトリウム、  
2) 学校法人大阪医科薬科大学 看護学部看護学科 精神看護学

## ポスター会場1 (看護学部棟 2F 講義室2)

## 一般演題1 (ポスター) [病因・認知機能・分子病態] 18:00~18:50

座長：村井 俊哉 (京都大学大学院医学研究科 脳病態生理学講座 精神医学)

## P1-1 統合失調症関連疾患の入院患者における小児期逆境体験の特徴と臨床指標との関連

○高橋 優輔<sup>1,2)</sup>、山岸 美香<sup>1,5)</sup>、中越 清子<sup>1,5)</sup>、里村 嘉弘<sup>1,3)</sup>、頓所 詩文<sup>1)</sup>、澤井 大和<sup>1)</sup>、  
金原 明子<sup>1)</sup>、森田 健太郎<sup>1)</sup>、柳下 祥<sup>4)</sup>、笠井 清登<sup>1,3,5)</sup>  
1) 東京大学医学部附属病院 精神神経科、2) 一般財団法人精神医学研究所附属東京武蔵野病院、  
3) 東京大学医学のダイバーシティ教育研究センター、  
4) 東京大学大学院医学系研究科 疾患生命工学センター 構造生理学、  
5) 東京大学国際高等研究所 ニューロインテリジェンス国際研究機構

## P1-2 ASD特性の強い思春期の難治性統合失調症に対してクロザピンが奏功した1例

○山本 貴大<sup>1,2)</sup>、森 健<sup>1,2)</sup>、岡山 達志<sup>1,2)</sup>、近藤 通子<sup>1)</sup>、崔 炯仁<sup>1)</sup>  
1) 稲門会 いわくら病院、2) 大阪医科薬科大学 神経精神医学教室

## P1-3 Autistic trait severity in early schizophrenia : Role in subjective quality of life and social functioning

○和田 歩<sup>1,2,3)</sup>、山田 理沙<sup>1)</sup>、山田 悠至<sup>4)</sup>、住吉 チカ<sup>1,5,6)</sup>、橋本 亮太<sup>6)</sup>、松本 純弥<sup>6)</sup>、  
菊池 安希子<sup>7)</sup>、久保田 涼太郎<sup>4)</sup>、松井 眞琴<sup>2)</sup>、中地 可南<sup>8)</sup>、藤巻 知夏<sup>8)</sup>、  
安達 伶音奈<sup>8)</sup>、スティックリー アンドリュー<sup>1)</sup>、吉村 直記<sup>2)</sup>、住吉 太幹<sup>1,8,9)</sup>  
1) 国立精神・経医療研究センター精神保健研究所 児童・予防精神医学研究部、  
2) 国立精神・神経医療研究センター病院 精神リハビリテーション部、  
3) 東京慈恵会医科大学 神経・感覚機能病態・治療学、  
4) 国立精神・神経医療研究センター病院 司法精神診療部、5) 福島大学 人間発達文化学類、  
6) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 精神疾患病態研究部、7) 武蔵野大学 人間科学部、  
8) 国立精神・神経医療研究センター病院 精神診療部、  
9) 国立高度専門医療研究センター 医療研究連携推進本部

## P1-4 Semantic network linked to social functioning in patients with schizophrenia

- 和田 歩<sup>1,2,3)</sup>、住吉 チカ<sup>1,4,5)</sup>、吉村 直記<sup>2)</sup>、橋本 亮太<sup>5)</sup>、松本 純弥<sup>5)</sup>、  
 スティックリー アンドリュウ<sup>1)</sup>、山田 悠至<sup>6)</sup>、菊池 安希子<sup>7)</sup>、久保田 涼太郎<sup>6)</sup>、  
 松井 眞琴<sup>2)</sup>、中地 可南<sup>8)</sup>、藤巻 知夏<sup>8)</sup>、安達 伶音奈<sup>8)</sup>、山田 理沙<sup>1)</sup>、住吉 太幹<sup>1,8,9)</sup>
- 1) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 児童・予防精神医学研究部、
  - 2) 国立精神・神経医療研究センター病院 精神リハビリテーション部、
  - 3) 東京慈恵会医科大学 神経・感覚機能病態・治療学、4) 福島大学 人間発達文化学類、
  - 5) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 精神疾患病態研究部、
  - 6) 国立精神・神経医療研究センター病院 司法精神診療部、7) 武蔵野大学 人間科学部、
  - 8) 国立精神・神経医療研究センター病院 精神診療部、
  - 9) 国立高度専門医療研究センター 医療研究連携推進本部

## P1-5 統合失調症患者におけるNMDA受容体機能低下仮説、one-carbon metabolism, 及びミエリン形成のマーカーの関心の検討

- 磯村 禎昭<sup>1)</sup>、大野 美紀子<sup>2)</sup>、藤井 久彌子<sup>1)</sup>、須藤 智志<sup>1)</sup>、小野 真由子<sup>1)</sup>、  
 上西 祐輝<sup>1)</sup>、角 幸頼<sup>1)</sup>、吉村 篤<sup>1)</sup>、秋山 一文<sup>3)</sup>、西 英一郎<sup>2)</sup>、尾関 祐二<sup>1)</sup>
- 1) 滋賀医科大学 精神医学講座、2) 滋賀医科大学 薬理学講座、3) 獨協医科大学 精神生物学講座

## 一般演題2 (ポスター) [認知機能・画像] 18:00~18:50

座長：中瀧 理仁 (徳島大学大学院医歯薬学研究部 精神医学分野)

## P2-1 側脳室拡大と認知機能障害がある精神疾患患者の認知機能の特徴

- 松本 純弥<sup>1)</sup>、伊藤 颯姫<sup>1)</sup>、住吉 チカ<sup>1,2)</sup>、安田 由華<sup>1,3)</sup>、長谷川 尚美<sup>1)</sup>、  
 藤本 美智子<sup>1,4)</sup>、山森 英長<sup>1,4,5)</sup>、橋本 亮太<sup>1)</sup>
- 1) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 精神疾患病態研究部、
  - 2) 福島大学 人間発達文化学類、3) 医療法人フォスター 生きる育む輝くメンタルクリニック、
  - 4) 大阪大学大学院医学系研究科 情報統合医学講座 精神医学教室、
  - 5) 独立行政法人地域医療機能推進機構大阪病院 神経精神科

## P2-2 統合失調症用のタブレット版認知機能検査の開発 (2)

- 豊巻 敦人、渡辺 隼人、久保田 千絵美、大久保 亮、澤頭 亮、野原 万梨子、  
 橋本 直樹
- 北海道大学大学院医学研究院 精神医学教室

## P2-3 統合失調症およびat-risk mental stateにおける視床下部亜領域の形態変化

- 高柳 陽一郎<sup>1)</sup>、笹林 大樹<sup>1,2)</sup>、西山 志満子<sup>1,3)</sup>、小林 春子<sup>1,2)</sup>、坂本 和巳<sup>1,2)</sup>、  
 高柳 みずほ<sup>1)</sup>、野口 京<sup>4)</sup>、辻井 農亜<sup>5)</sup>、高橋 努<sup>1,2)</sup>
- 1) 富山大学学術研究部 医学系 神経精神医学講座、
  - 2) 富山大学研究推進機構アイドリング脳科学研究センター、
  - 3) 富山大学学術研究部 教育研究推進系 保健管理センター、
  - 4) 富山大学学術研究部 医学系 放射線診断・治療学講座、
  - 5) 富山大学附属病院 こどものこころと発達診療学講座

## P2-4 統合失調症における左後上側頭回の構造的接続性についての研究

- 佐々木 仁<sup>1,2)</sup>、久保田 学<sup>2)</sup>、宮田 淳<sup>2,3)</sup>、村井 俊哉<sup>2)</sup>
- 1) 医療法人社団佐々木医院、2) 京都大学大学院医学研究科 脳病態生理学講座 (精神医学)、
  - 3) 愛知医科大学 精神科学講座

## P2-5 自宅から参加できる認知機能改善療法の3か月後の効果に関する一考察：Zoomを活用して

- 相上 律子<sup>1,2)</sup>、松井 三枝<sup>3)</sup>
- 1) 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科、2) 公立小松大学 保健医療学部 看護学科、
  - 3) 金沢大学国際基幹教育院

**一般演題3 (ポスター) [分子病態・遺伝]** 18:00~18:50

座長：戸田 裕之 (防衛医科大学校 精神科学講座)

**P3-1 統合失調症患者の前頭前野における脳内へパラン硫酸プロテオグリカンの変化**○湯川 尊行<sup>1,10)</sup>、岩倉 百合子<sup>2)</sup>、武井 延之<sup>2)</sup>、林 秀樹<sup>3)</sup>、五十嵐 道弘<sup>4)</sup>、宍戸 理紗<sup>5)</sup>、長岡 敦子<sup>6)</sup>、日野 瑞城<sup>7)</sup>、北村 秀明<sup>8)</sup>、國井 泰人<sup>7)</sup>、柿田 明美<sup>3)</sup>、江川 純<sup>1)</sup>、染矢 俊幸<sup>1)</sup>、那波 宏之<sup>9)</sup>

- 1) 新潟大学大学院医歯学総合研究科 精神医学分野、2) 新潟大学脳研究所 腫瘍病態学分野、
- 3) 新潟大学脳研究所 病理学分野、4) 新潟大学大学院医歯学総合研究科 分子細胞機能学分野、
- 5) 福島県立医科大学 医学部 神経精神医学講座、6) 東北大学病院 精神科、
- 7) 東北大学災害科学国際研究所 災害精神医学分野、8) 佐潟公園病院、
- 9) 和歌山県立医科大学 薬学部 生体機能解析学教室、10) 新津メンタルクリニック

**P3-2 統合失調症におけるNLRP3の関与についての予備的検討**○梶谷 直史、三浦 明彦、山梨 豪彦、松尾 諒一、岩田 正明  
鳥取大学医学部附属病院**P3-3 統合失調症の高リスク遺伝子変異による病態メカニズムの解明**○豊田 早織<sup>1)</sup>、菊池 正隆<sup>2)</sup>、高橋 英彦<sup>1)</sup>、塩飽 裕紀<sup>1)</sup>

- 1) 東京科学大学大学院 精神行動医科学分野、2) 新潟大学脳研究所 生命科学リソース研究センター

**P3-4 統合失調症の異常セイリエンス仮説における「異常」の多様性：計算論的検証**○藤田 芳久<sup>1)</sup>、村井 俊哉<sup>2)</sup>

- 1) 京都大学医学部附属病院 精神科神経科、
- 2) 京都大学大学院医学研究科 脳病態生理学講座 精神医学教室

**P3-5 心因性過呼吸発作と診断されていたが、遺伝子検査により22q11.2欠失症候群に伴うテタニー発作であることが判明した一例**○高田 恭輔<sup>1,2)</sup>、西 将輝<sup>1,2)</sup>、菊山 裕貴<sup>1,2)</sup>、樽谷 精一郎<sup>1,2)</sup>、岡村 武彦<sup>1,2)</sup>、金沢 徹文<sup>2)</sup>

- 1) 大阪精神医学研究所 新阿武山病院、2) 大阪医科薬科大学 神経精神医学教室

**一般演題4 (ポスター) [治療1]** 18:00~19:00

座長：竹林 実 (熊本大学大学院生命科学研究部 健康長寿代謝制御研究センター 精神病態医学講座)

**P4-1 バルベナジンの遅発性ジスキネジア (TD) に対する有効性および中止後の変化を予測する因子：日本人TD患者を対象とした第2/3相臨床試験 (J-KINECT) の事後解析**○渡邊 裕美<sup>1)</sup>、須々田 寛<sup>2)</sup>、増井 秀昭<sup>1)</sup>、竹内 啓善<sup>3)</sup>

- 1) 田辺三菱製薬株式会社 開発・メディカル本部 メディカルアフェアーズ部、
- 2) 田辺三菱製薬株式会社 開発・メディカル本部 データサイエンス部、
- 3) 慶應義塾大学 医学部 精神・神経科学教室

**P4-2 クロザピン導入期において肺炎に続発してクロザピンの副作用が疑われる重篤な急性腎障害をきたした一例**

○武内 正美、川勝 一雄、岡山 達志、崔 炯仁

医療法人稲門会 いわくら病院

**P4-3 EGUIDEプロジェクトによる統合失調症のreal-world study～2023年度の報告～**○長谷川 尚美<sup>1)</sup>、堀 輝<sup>2)</sup>、山田 恒<sup>3)</sup>、松本 純弥<sup>1)</sup>、渡邊 衡一郎<sup>4)</sup>、稲田 健<sup>5)</sup>、古郡 規雄<sup>6)</sup>、橋本 亮太<sup>1)</sup>

- 1) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 精神疾患病態研究部、
- 2) 福岡大学医学部 精神医学教室、3) 兵庫医科大学 精神科神経科学講座、
- 4) 杏林大学医学部 精神神経科学教室、5) 北里大学医学部 精神科学、6) 獨協医科大学 精神神経医学講座

**P4-4 小児期トラウマと統合失調症スペクトラム その関与と役割**

○吉村 淳  
美喜和会オレンジホスピタル

**P4-5 心理教育を経験し非定型抗精神病薬で治療する統合失調症患者の社会参加への影響因子**

○渡部 和成  
社会医療法人田宮病院 精神科

**P4-6 クロザピンとADHD治療薬の併用が奏効したADHD、ASDを併存した治療抵抗性統合失調症の2症例**

○賀古 勇輝、直江 亮、國田 幸治、駿河 勇太、曳田 憲昭、本間 龍介、高張 陽子、杉山 正記、榊原 則寛、作間 真一、生田 真弥、中村 郁哉、芳賀 司、工藤 美紀、藤井 絵理奈、佐々木 勇人、苜米地 淳子、高信 径介、三井 信幸  
北海道大学病院附属司法精神医療センター

**一般演題5 (ポスター) [治療2] 18:00~19:00**

座長：高木 学 (岡山大学学術研究院医歯薬学域 精神神経病態学)

**P5-1 統合失調症と自閉スペクトラム症における労働に関連する要因の検討**

○伊藤 颯姫<sup>1)</sup>、住吉 チカ<sup>1,2,3)</sup>、安田 由華<sup>1,4)</sup>、松本 純弥<sup>1)</sup>、藤本 美智子<sup>1,5)</sup>、山森 英長<sup>1,5,6)</sup>、長谷川 尚美<sup>1)</sup>、高野 晴成<sup>1,7)</sup>、住吉 太幹<sup>3,8)</sup>、橋本 亮太<sup>1)</sup>  
1) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 精神疾患病態研究部、  
2) 福島大学 人間発達文化学類、  
3) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 児童・予防精神医学研究部、  
4) 医療法人フォスター 生きる育む輝くメンタルクリニック、  
5) 大阪大学大学院医学系研究科 情報統合医学講座 精神医学教室、  
6) 独立行政法人地域医療機能推進機構大阪病院 神経精神科、  
7) 国立精神・神経医療研究センター 脳病態統合イメージングセンター、  
8) 国立高度専門医療研究センター 医療研究連携推進本部

**P5-2 非自発的薬物治療からの解放：持効性注射剤導入の可能性 (症例報告)**

○小口 芳世<sup>1)</sup>、三宅 誕実<sup>2)</sup>  
1) 聖マリアンナ医科大学 神経精神科、2) 川崎市立多摩病院

**P5-3 治療抵抗性統合失調症に対してアセナピンが奏功した一例 ～薬物動態から考えるアセナピンの有用性と可能性～**

○今口 真輝、金沢 徹文、堀 貴晴、南 博也  
大阪医科薬科大学 精神神経医学教室

**P5-4 淡路島の単科精神科病院と基幹大学病院である大阪医科薬科大学病院で比較したクロザピン治療の課題や改善策**

○齋藤 賢寿<sup>1,2)</sup>、藤平 東<sup>2,3)</sup>、中川 卓也<sup>1,2)</sup>、坂村 彩花<sup>2)</sup>、大西 尚哉<sup>2)</sup>、南 博也<sup>2)</sup>、釜瀬 貴之<sup>2)</sup>、豊田 勝孝<sup>2)</sup>、今津 伸一<sup>2,5)</sup>、山内 繁<sup>2,4)</sup>、木下 真也<sup>2)</sup>、西田 圭一郎<sup>2)</sup>、堀 貴晴<sup>1,2)</sup>、金沢 徹文<sup>2)</sup>  
1) 医療法人新淡路病院、2) 大阪医科薬科大学 神経精神医学教室、3) 医療法人千水会 赤穂仁泉病院、  
4) やまうちクリニック、5) 医療法人今津診療所

**P5-5 医師診療記録を用いた、クロザピン投与が難治性統合失調症患者の発話内容に及ぼす影響の解析**

○松村 光紗<sup>1)</sup>、西田 圭一郎<sup>2)</sup>、矢野 良一<sup>1)</sup>、角山 香織<sup>1)</sup>、中村 敏明<sup>1)</sup>、森島 陽介<sup>3)</sup>  
1) 大阪医科薬科大学 薬学部、2) 大阪医科薬科大学 医学部 医学科 神経精神医学教室、  
3) バルン大学精神科病院 トランスレーショナルリサーチセンター

**P5-6 当院における Paliperidone Palmitate 3ヶ月製剤の使用成績と早期導入の臨床的意義について**

○住田 衣美、公文 理紗子、藤田 康孝  
医療法人社団更生会 こころホスピタル草津

**Travel Award受賞者セッション** 19:00~19:10

座長：西澤 由貴 (大阪医科薬科大学 神経精神医学教室)

**Identification of Subcortical Brain Signature for Clinical Symptoms in Early Psychosis Patients**

Yi-An Liao National Taiwan University Hospital, Department of Psychiatry

**ポスター会場2 (看護学部棟 1F ロビー)**

**一般演題6 (ポスター) [治療3]** 18:00~19:00

座長：橋本 亮太 (国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 精神疾患病態研究部)

**P6-1 統合失調症治療における柔軟な意思決定モデルの活用**

○川上 明紗美<sup>1)</sup>、西田 圭一郎<sup>2)</sup>、山根 快斗<sup>3)</sup>、木瀬 達也<sup>1)</sup>、島本 優太郎<sup>3)</sup>、丸山 惣一郎<sup>1)</sup>、青木 浄亮<sup>1)</sup>、金沢 徹文<sup>2)</sup>  
1) 瀬田川病院、2) 大阪医科薬科大学病院、3) 関西医科大学附属病院

**P6-2 統合失調症に自閉スペクトラム症のタイムスリップ現象が併発した症例**

○岩井 修平  
滋賀医科大学 医学部 精神科

**P6-3 長期の小康状態から老年期に悪性緊張病を呈した統合失調症の1例**

○板東 雅樹<sup>1)</sup>、高橋 隼<sup>1)</sup>、谷向 祐宥<sup>2)</sup>、畑 真弘<sup>1)</sup>、池田 学<sup>1)</sup>  
1) 大阪大学大学院医学系研究科 精神医学教室、  
2) 大阪府立病院機構大阪急性期・総合医療センター 精神科

**P6-4 こころホスピタル草津におけるクロザピン使用の現状と課題**

○川上 今日子、藤田 康孝  
医療法人社団更生会 こころホスピタル草津

**P6-5 クロザピン内服中に薬剤性胸膜炎を発症した後、白血球減少をきたした統合失調症の一例**

○小浦 洋和、藤田 康孝  
医療法人社団更生会 こころホスピタル草津

**P6-6 アドヒアランス不良から病的体験の再燃を繰り返す統合失調症患者が、貼付剤によるブロナンセリンテープにより寛解に至りその後のアドヒアランスの保持や継続通院が可能となった一例**

○松本 康一、西田 圭一郎、金沢 徹文  
大阪医科薬科大学 神経精神医学教室

## 一般演題7(ポスター) [治療・早期介入] 18:00~19:00

座長：尾関 祐二 (滋賀医科大学 精神医学講座)

- P7-1** 治療抵抗性統合失調症における治療薬クロザピンの日本人における処方の全例調査 ～クロザピン患者の使用実態と中止リスク因子の検討、副作用の発現頻度について～  
 ○豊田 勝孝<sup>1)</sup>、畑 武生<sup>2)</sup>、今津 伸一<sup>1)</sup>、松本 康一<sup>1)</sup>、大西 尚哉<sup>1)</sup>、久保 洋一郎<sup>1)</sup>、木下 真也<sup>1)</sup>、西田 圭一郎<sup>1)</sup>、稲田 健<sup>3)</sup>、金沢 徹文<sup>1)</sup>  
 1) 大阪医科薬科大学 神経精神医学教室、2) 大阪医科薬科大学病院 薬剤部、3) 北里大学医学部 精神科学
- P7-2** 持効性注射剤：paliperidone palmitateの使用中に重症アカシジアを併発した統合失調症の一例  
 ○内海 弘一郎、八尾 正之  
 医療法人恒昭会 藍野病院 精神科
- P7-3** 精神病発症超ハイリスク基準群における形質転換増殖因子 $\beta$ と社会的機能との関連：多施設共同研究  
 ○山田 悠至<sup>1)</sup>、岸本 直子<sup>2,3)</sup>、田形 弘実<sup>4)</sup>、盛本 翼<sup>2,5)</sup>、冨本 和歩<sup>6)</sup>、佐藤 祐太郎<sup>6)</sup>、樋口 悠子<sup>7)</sup>、比江嶋 啓至<sup>8)</sup>、水木 慧<sup>8)</sup>、和泉 翔喜<sup>1)</sup>、大庭 真梨<sup>1)</sup>、北村 真吾<sup>1)</sup>、岸本 年史<sup>2,9)</sup>、根本 隆洋<sup>4)</sup>、水野 雅文<sup>10)</sup>、富田 博秋<sup>6)</sup>、鈴木 道雄<sup>7)</sup>、小曾根 基裕<sup>8)</sup>、橋本 謙二<sup>11)</sup>、三島 和夫<sup>12)</sup>、大西 隆<sup>13)</sup>、中込 和幸<sup>1)</sup>、住吉 太幹<sup>1)</sup>  
 1) 国立精神・神経医療研究センター、2) 奈良県立医科大学、3) 大阪国際大学、4) 東邦大学、5) 飛鳥病院、6) 東北大学、7) 富山大学、8) 久留米大学、9) 秋津鴻池病院、10) 都立松沢病院、11) 千葉大学、12) 秋田大学、13) ヤンセンファーマ株式会社
- P7-4** 自傷行為がその後の精神病様体験に与える因果効果：思春期コホート研究参加者を対象とした周辺構造モデルによる検証  
 ○山口 智史<sup>1)</sup>、山崎 修道<sup>1)</sup>、宮下 光弘<sup>1)</sup>、新村 順子<sup>1)</sup>、中島 直美<sup>1)</sup>、安藤 俊太郎<sup>2)</sup>、西田 淳志<sup>1)</sup>  
 1) 東京都医学総合研究所、2) 東京大学
- P7-5** 精神疾患ハイリスク状態の呼称認知度に関する調査  
 ○高橋 努<sup>1)</sup>、片桐 直之<sup>2)</sup>、樋口 悠子<sup>1)</sup>、西山 志満子<sup>3)</sup>、荒井 悠<sup>4)</sup>、田形 弘実<sup>4)</sup>、根本 隆洋<sup>4)</sup>、水野 雅文<sup>5)</sup>、鈴木 道雄<sup>6)</sup>  
 1) 富山大学学術研究部医学系 神経精神医学講座、2) 東邦大学医療センター佐倉病院 メンタルヘルスクリニック、3) 富山大学学術研究部教育研究推進系 保健管理センター、4) 東邦大学医学部 精神神経医学講座、5) 東京都立松沢病院、6) 有沢橋病院
- P7-6** CPSSによる精神病リスク児童スクリーニングの試みー小児科から精神科への医療フロー確立に向けて  
 ○濱崎 由紀子<sup>1,2)</sup>、阪上 由子<sup>3)</sup>、道越 秀吾<sup>4)</sup>、中山 貴夫<sup>1)</sup>、上羽 智子<sup>5)</sup>、六田 泰央<sup>6)</sup>、磯部 昌憲<sup>6)</sup>、疋田 貴俊<sup>7)</sup>  
 1) 京都女子大学 現代社会学部、2) 医療法人藤樹会 滋賀里病院、3) 滋賀医科大学 医学部 小児科学講座、4) 京都女子大学 データサイエンス学部、5) 済生会守山市民病院 小児科、6) 京都大学大学院医学研究科 脳病態生理学講座 精神医学教室、7) 大阪大学蛋白質研究所 高次脳機能学研究室

**一般演題8 (ポスター) [地域生活支援・認知機能]** 18:00~19:00

座長：久我 弘典 (国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター)

**P8-1 日本の地域精神保健研究におけるコアアウトカム領域の決定 –多様なステークホルダーとのコンセンサス会議–**

○塩澤 拓亮<sup>1,2)</sup>、川口 敬之<sup>2)</sup>、小池 純子<sup>2)</sup>、阿部 真貴子<sup>2)</sup>、五十嵐 百花<sup>2)</sup>、  
岩永 麻衣<sup>2)</sup>、臼井 香<sup>2)</sup>、奈良 麻結<sup>2)</sup>、安間 尚徳<sup>2,3)</sup>、小林 慧<sup>2,4)</sup>、山田 裕貴<sup>2,5)</sup>、  
名雪 和美<sup>2)</sup>、佐藤 さやか<sup>2)</sup>、山口 創生<sup>2)</sup>、藤井 千代<sup>2)</sup>

- 1) 東京科学大学大学院保健衛生学研究科 未来創成ナースリサーチセンター、
- 2) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 地域精神保健・法制度研究部、
- 3) 医療法人社団順風会 上尾の森診療所、4) 東京大学医学部附属病院 精神神経科、
- 5) 所沢市保健センター 健康管理課 こころの健康支援室

**P8-2 ほんまはもっとおもしろい看護 長期入院している当事者への看護を通じて**

○山本 湧太、西村 新  
稲門会 いわくら病院 看護部

**P8-3 落語を用いた当事者による精神疾患啓発活動**

○吉村 匡史<sup>1)</sup>、村上 貴栄<sup>2)</sup>、高野 隼<sup>3,4)</sup>、林 良太<sup>1)</sup>、加藤 正樹<sup>4)</sup>

- 1) 関西医科大学 リハビリテーション学部 作業療法学科、
- 2) 京都光華女子大学 看護福祉リハビリテーション学部 福祉リハビリテーション学科 社会福祉専攻
- 3) 関西医科大学総合医療センター 精神神経科 デイケア室、4) 関西医科大学 医学部 精神神経科学講座

**P8-4 リカバリーカレッジにおけるリカバリーとはなにか –リカバリーカレッジの実践が当事者、専門家、コミュニティに与える影響とその要因の文献調査–**

○小峰 結<sup>1)</sup>、水沼 佳乃<sup>1)</sup>、前田 千晴<sup>1)</sup>、桂川 泰典<sup>2)</sup>

- 1) 早稲田大学大学院人間科学研究科、2) 早稲田大学人間科学学術院

**P8-5 向精神薬を服薬していない精神病発症リスク状態 (ARMS) における LORETA 解析を用いた安静時脳波の特徴の検討**

○樋口 悠子<sup>1,2)</sup>、小田切 静香<sup>3)</sup>、立野 貴大<sup>4)</sup>、鈴木 道雄<sup>5,6)</sup>、高橋 努<sup>1,2)</sup>

- 1) 富山大学学術研究部医学系 神経精神医学講座、2) 富山大学アイドリング脳科学研究センター、
- 3) 富山大学附属病院 小児科、4) 魚津神経サナトリウム、5) 有沢橋病院、6) 糸魚川診療所

**P8-6 統合失調症における神経認知及び社会認知機能障害の中核となる機能の解明 –ネットワーク分析を用いて–**

○武田 知也<sup>1)</sup>、福留 広大<sup>3)</sup>、沼田 周助<sup>2,3)</sup>

- 1) 人間環境大学総合心理学部 総合心理学科、2) 徳島大学大学院医歯薬学研究部、
- 3) 聖カタリナ大学人間健康福祉学部

**一般演題9 (ポスター) [精神療法・心理社会的側面1]** 18:00~19:00

座長：紀本 創兵 (和歌山県立医科大学 神経精神医学教室)

**P9-1 統合失調症入院患者における心理教育完遂が与える予後への影響：パイロット・コホート研究**

○樽谷 精一郎<sup>1)</sup>、野口 裕己<sup>2)</sup>、竹井 謙貴<sup>3)</sup>、松本 康一<sup>3)</sup>、岡村 武彦<sup>1)</sup>、米田 博<sup>1)</sup>

- 1) 大阪精神医学研究所 新阿武山病院 精神科、2) 大阪精神医学研究所 新阿武山病院 看護部、
- 3) 大阪医科薬科大学 精神神経科

**P9-2 統合失調症に於ける他者との繋がりが主体性に与える影響**

○堀 健太、塚田 勇氣、岡山 達志、崔 炯仁  
いわくら病院 看護部

**P9-3 School Adolescent Behavior and Care (S-ABC) surveyのご紹介：学校現場と連携した毎年継続の疫学横断調査**

○森島 遼<sup>1,2,3)</sup>、金原 明子<sup>1)</sup>、岡田 直大<sup>1,4)</sup>、笠井 清登<sup>1,4)</sup>

- 1) 東京大学医学部附属病院 精神神経科、2) 帝京平成大学 健康メディカル学部 心理学科、
- 3) 早稲田大学ソーシャル&ヒューマン・キャピタル研究所、
- 4) 東京大学国際高等研究所 ニューロインテリジェンス国際研究機構

**P9-4 大学病院精神科病棟における集団精神療法の取り組み ―統合失調症患者の語りをメンタライゼーションの視点から考察した症例報告―**

○杉本 峻也<sup>1)</sup>、高山 真衣<sup>1)</sup>、川端 康雄<sup>1)</sup>、若林 暁子<sup>1)</sup>、青木 悠<sup>1)</sup>、大西 尚哉<sup>1)</sup>、百溪 さゆり<sup>1)</sup>、竹井 謙貴<sup>1)</sup>、藤本 健士郎<sup>1)</sup>、辻 明里<sup>1)</sup>、藤澤 由里子<sup>1)</sup>、川茂 聖哉<sup>2)</sup>、岡山 達志<sup>3)</sup>、西澤 由貴<sup>1)</sup>、木下 真也<sup>1)</sup>、久保 洋一郎<sup>1)</sup>、西田 圭一郎<sup>1)</sup>、金沢 徹文<sup>1)</sup>

- 1) 大阪医科薬科大学病院 精神神経科、2) かわしげクリニック、3) 医療法人稲門会 いわくら病院

**P9-5 リハビリをを目指す認知療法に基づいた精神科入院患者との対話支援シート「つながるシート」の開発**

○三田村 康衣<sup>1,2)</sup>、朝海 撰<sup>3)</sup>、佐伯 幸治<sup>3)</sup>、片柳 章子<sup>1)</sup>、千葉 裕之<sup>1)</sup>、伊藤 愛<sup>1,2,3)</sup>、駒沢 あさみ<sup>1)</sup>、加藤 愛理<sup>1)</sup>、梅本 育恵<sup>1,2)</sup>、浜村 俊傑<sup>1)</sup>、久我 弘典<sup>1,2)</sup>

- 1) 国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター、
- 2) 東京慈恵会医科大学 大学院医学研究科 医学系専攻博士課程連携大学院、
- 3) 国立精神・神経医療研究センター病院

**P9-6 統合失調症の鑑別診断におけるトラウマインフォームドケア視点を活かした心理アセスメントの有用性 ―統合失調症疑いの思春期症例の検討を通して―**

○青木 悠、高山 真衣、杉本 峻也、若林 暁子、川端 康雄、百溪 さゆり、大西 尚哉、伊達 京香、越智 文、竹井 謙貴、藤本 健士郎、岡山 達志、久保 洋一郎、西田 圭一郎、金沢 徹文

大阪医科薬科大学病院 神経精神医学教室

**一般演題10 (ポスター) [精神療法・心理社会的側面2] 18:00~19:00**

座長：糸川 昌成 (東京都医学総合研究所)

**P10-1 リハビリをを目指す認知療法 ～統合失調症の患者にアプローチした事例報告～**

○伊藤 愛<sup>1)</sup>、三田村 康衣<sup>2,3)</sup>、梅本 育恵<sup>2,3)</sup>、片柳 章子<sup>3)</sup>、井上 真里<sup>3)</sup>、山本 洋美<sup>3,4)</sup>、加藤 愛理<sup>3,5)</sup>、千葉 裕之<sup>3)</sup>、日吉 史一<sup>2,3)</sup>、白幡 洵<sup>3)</sup>、吉田 和史<sup>3)</sup>、浜村 俊傑<sup>3)</sup>、大野 裕<sup>6)</sup>、久我 弘典<sup>2,3)</sup>

- 1) 国立精神・神経医療研究センター病院、
- 2) 東京慈恵会医科大学 大学院医学研究科 医学系専攻博士課程連携大学院 脳病態制御学、
- 3) 国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター、4) 横浜創英大学、5) 大宮厚生病院、
- 6) 大野研究所

**P10-2 入院中に自殺によって亡くなった統合失調症患者の特徴：うつ病患者との比較**

○井上 佳祐<sup>1,2)</sup>、張 賢徳<sup>3)</sup>、大塚 耕太郎<sup>4)</sup>、大西 秀樹<sup>5)</sup>、河西 千秋<sup>6)</sup>

- 1) 医療法人正心会 岡本病院、2) 横浜市立大学 精神医学教室、
- 3) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所、4) 岩手医科大学 神経精神科学講座、
- 5) 埼玉医科大学 国際医療センター 精神腫瘍科、6) 札幌医科大学 医学部 神経精神医学講座

**P10-3 集団療法としてのリカバリーを目指す認知療法 (CT-R) のプログラム開発**

○加藤 愛理<sup>1,2)</sup>、三田村 康衣<sup>1,3)</sup>、浜村 俊傑<sup>1)</sup>、片柳 章子<sup>1)</sup>、梅本 育恵<sup>1,3)</sup>、  
千葉 裕之<sup>1)</sup>、伊藤 愛<sup>1,3,4)</sup>、上原 陽子<sup>1,5)</sup>、山本 洋美<sup>1,6)</sup>、菊池 安希子<sup>7)</sup>、浪久 悠<sup>4)</sup>、  
吉村 直記<sup>4)</sup>、久我 弘典<sup>1)</sup>

1) 国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター、2) 大宮厚生病院、  
3) 東京慈恵会医科大学大学院、4) 国立精神・神経医療研究センター病院、  
5) 東日本成人矯正医療センター、6) 横浜創英大学、7) 武蔵野大学 人間科学部

**P10-4 精神疾患レジストリ (Mental illness registry) を活用した統合失調症患者の認知機能障害と就労状況に関する探索的多施設共同観察研究**

○吉村 直記<sup>1)</sup>、和田 歩<sup>2)</sup>、和泉 翔喜<sup>3)</sup>、小野 芙美子<sup>4)</sup>、矢野 耕史<sup>4)</sup>、大庭 真梨<sup>3)</sup>

1) 国立精神・神経医療研究センター病院 精神リハビリテーション部、  
2) 国立精神・神経医療研究センター 児童・予防精神医学研究部、  
3) 国立精神・神経医療研究センター トランスレーショナルメディカルセンター 情報管理・解析部、  
4) 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

**P10-5 長期入院患者に対する地域移行支援の取り組みについて ～ぼちぼちクラブを通して～**

○西山 翔<sup>1)</sup>、窪田 一成<sup>1)</sup>、佐々木 美紀子<sup>1)</sup>、中野 一輝<sup>1)</sup>、神谷 真之介<sup>1)</sup>、上田 麻里<sup>2)</sup>、  
吉村 淳<sup>1)</sup>

1) 医療法人美喜和会 美喜和会オレンジホスピタル、2) 大阪府福祉部障がい福祉室

**P10-6 身体合併症センターから見た統合失調症身体合併症患者の特徴**

○池田 俊一郎、清水 敏幸、南 翔太、桂 功士、山田 妃沙子、加藤 正樹  
関西医科大学 医学部 精神神経科学講座

## 第2日目 2025年4月27日(日)

### 第1会場 (看護学部 2F 講堂)

#### 特別企画2 10:00~11:00

### トークセッション『どうすればよかったか?』

藤野 知明 (映画『どうすればよかったか?』監督)

浅野 由美子 (映画『どうすればよかったか?』プロデューサー)

金沢 徹文 (大阪医科薬科大学 神経精神医学教室 教授/第19回日本統合失調症学会 会長)

村井 俊哉 (京都大学大学院医学研究科 脳病態生理学講座 精神医学 教授/日本統合失調症学会 副理事長)

#### 会長講演 11:10~11:40

座長: 福田 正人 (群馬大学 名誉教授)

### 統合失調症への思い

金沢 徹文 大阪医科薬科大学 神経精神医学教室

#### シンポジウム9 12:30~14:30

座長: 山口 創生 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 地域精神保健・法制度研究部)

### 共同創造における言葉の大切さ

#### SY9-1 言葉の持つちからから共同創造を考える

○佐々木 理恵

東京大学大学院医学系研究科 医学のダイバーシティ教育研究センター シニアピアサポートワーカー

#### SY9-2 共同創造を促進するためのわかりやすい用語集

○柳下 祥

東京大学大学院医学系研究科 疾患生命工学センター

#### SY9-3 当事者・家族の思いと研究者の考えを同じ言葉で共有するために

○千葉 理恵

京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 精神保健看護学分野

#### SY9-4 診療における当事者の言葉と専門用語のズレー若手精神科医の視点から

○平田 りさ

京都大学大学院医学研究科 脳病態生理学講座 精神医学

#### 閉会式 14:30~

市民公開講座 15:00~16:30

座長：金沢 徹文 (大阪医科薬科大学 神経精神医学教室)  
菊山 裕貴 (大阪精神医学研究所 新阿武山病院)

## チャンスは自分で切り拓くもの

永島 昭浩 一般社団法人大阪府サッカー協会 会長 / JFAサッカー日本代表OB・OG会 会長

第2会場 (看護学部棟 3F 講義室4)

シンポジウム10 9:00~11:00

座長：糸川 昌成 (東京都医学総合研究所)

## 統合失調症研究の最前線

### SY10-1 コピー数バリエーションが生涯に与える多面的影響：脳から身体、そして社会生活まで

○久島 周

名古屋大学医学部附属病院 ゲノム医療センター / 名古屋大学大学院医学系研究科 精神医学分野

### SY10-2 統合失調症における神経細胞の変化 Neuronal alterations in schizophrenia

○水谷 隆太<sup>1,2)</sup>、雑賀 里乃<sup>1)</sup>、山本 義郎<sup>1)</sup>、井野元 智恵<sup>1)</sup>、梶原 博<sup>1)</sup>、中村 直哉<sup>1)</sup>、  
垣本 由布<sup>1)</sup>、佐田 侑樹<sup>3)</sup>、安武 正展<sup>3)</sup>、上相 真之<sup>3)</sup>、竹内 晃久<sup>3)</sup>、上杉 健太郎<sup>3)</sup>、  
Viktor Nikitin<sup>4)</sup>、Francesco De Carlo<sup>4)</sup>、鳥居 洋太<sup>5)</sup>、久島 周<sup>5)</sup>、尾崎 紀夫<sup>5)</sup>、  
入谷 修司<sup>6)</sup>、山下 祐一<sup>7)</sup>、井手 聡一郎<sup>8)</sup>、池田 和隆<sup>7,8)</sup>、大島 健一<sup>8,9)</sup>、糸川 昌成<sup>8,9)</sup>

1) 東海大学、2) 理化学研究所、3) 高輝度光科学研究センター / SPring-8、

4) Argonne National Laboratory、5) 名古屋大学、6) 桶狭間病院、

7) 国立精神・神経医療研究センター、8) 東京都医学総合研究所、9) 東京都立松沢病院

### SY10-3 統合失調症の高リスク遺伝子病態及びシナプス自己抗体病態

○塩飽 裕紀

東京科学大学大学院 精神行動医科学分野

### SY10-4 統合失調症における糖化ストレス病態の解明

○鳥海 和也

東京都医学総合研究所 統合失調症プロジェクト

ランチョンセミナー2 11:50~12:50

座長：西田 圭一郎 (大阪医科薬科大学 医学部 神経精神医学教室)

## 統合失調症の再発とその予防

竹内 啓善 慶應義塾大学 医学部 精神・神経科学教室

共催：大塚製薬株式会社

シンポジウム11 13:00~14:30

座長：市橋 香代 (東京大学医学部附属病院 精神神経科)  
根本 清貴 (筑波大学医学医療系 精神医学)

統合失調症を抱える女性への育児も見据えたプレコンセプションケア

SY11-1 こころの不調や病気と妊娠・出産のガイド

○根本 清貴  
筑波大学医学医療系精神医学

SY11-2 統合失調症における遺伝的リスクの説明：不確実性をどう伝えるか

○久島 周  
名古屋大学医学部附属病院 ゲノム医療センター／名古屋大学大学院医学系研究科 精神医学分野

SY11-3 統合失調症を抱える女性と家族のための育児支援

○菊地 紗耶  
東北大学大学院医学系研究科 精神神経学分野

SY11-4 家族の立場から期待すること

○岡田 久実子  
(公社) 全国精神保健福祉会

第3会場 (看護学部棟 3F 講義室5)

シンポジウム12 9:00~10:30

座長：竹内 啓善 (慶應義塾大学 医学部 精神・神経科学教室)  
木下 真也 (大阪医科薬科大学 神経精神医学教室)

クロザピン連携

SY12-1 山梨県立北病院におけるクロザピン連携

○三澤 史斉  
山梨県立北病院

SY12-2 岡山県のクロザピン連携モデル「ハブは急性期病棟」

○矢田 勇慈  
岡山県精神科医療センター

SY12-3 新阿武山病院におけるクロザピン連携について

○樽谷 精一郎  
大阪精神医学研究所 新阿武山病院

SY12-4 治療抵抗性統合失調症における治療薬クロザピンの日本人における処方全例調査 ～クロザピン患者の使用実態と中止リスク因子の検討、副作用の発現頻度について～

○豊田 勝孝<sup>1)</sup>、畑 武生<sup>2)</sup>、今津 伸一<sup>1)</sup>、松本 康一<sup>1)</sup>、大西 尚哉<sup>1)</sup>、久保 洋一郎<sup>1)</sup>、  
木下 真也<sup>1)</sup>、西田 圭一郎<sup>1)</sup>、稲田 健<sup>3)</sup>、金沢 徹文<sup>1)</sup>

1) 大阪医科薬科大学 神経精神医学教室、2) 大阪医科薬科大学病院 薬剤部、3) 北里大学医学部 精神科学

**シンポジウム13** 13:00~14:30

座長：嶽北 佳輝 (関西医科大学 医学部 精神神経科学講座)

**統合失調症に対する生物学的治療の未来**

**SY13-1 非ドパミン系抗精神病薬の開発について**

○堀 輝  
福岡大学医学部 精神医学教室

**SY13-2 統合失調症薬物治療における新規剤型への期待**

○三澤 史斉  
山梨県立北病院

**SY13-3 統合失調症治療におけるプレシジョンメディシンとデジタルデバイス**

○吉田 和生  
慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター

**SY13-4 統合失調症におけるニューロモデュレーション治療の現状と展望**

○諏訪 太朗  
京都大学大学院医学研究科 脳病態生理学講座 精神医学

**第4会場 (看護学部棟 2F 講義室1)**

**ワークショップ3** 9:00~11:00

**WRAP – 元気回復行動プラン –**

ファシリテーター：じゅん  
おーちゃん  
こっちゃん  
はやっちゃん